

2026年5月25日

各 位

会社名 芝浦機械株式会社
代表者名 取締役社長 坂元 繁友
(コード番号 6104 東証プライム)
問合せ先 広報・IR部長 青木 稔
(TEL 03-3509-0444)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2026年1月30日に公表いたしました「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に訂正すべき事項が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ(XBRLデータ)にも訂正が生じますので、訂正後の数値データを送信いたします。

記

1. 訂正の理由

2025年11月28日に持分取得したSHIBAURA MACHINE LWB GmbHの連結に係るのれん及びそのグループ会社の資産の評価等の影響額が確定したため訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所が多数に及ぶことから訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 芝浦機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6104 URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 (TEL) 03 (3509) 0444
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	92,719	△30.3	1,872	△85.7	2,809	△79.3	△466	—
2025年3月期第3四半期	133,078	21.5	13,117	35.9	13,590	28.4	12,280	△20.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,503百万円 (△72.2%) 2025年3月期第3四半期 12,609百万円 (△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △19.75	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	515.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 183,670	百万円 117,820	% 64.1
2025年3月期	199,607	117,171	58.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 117,820百万円 2025年3月期 117,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 140.00
2026年3月期	—	70.00	—		
2026年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	140,000	△16.8	5,000	△64.5	5,000	△64.5	3,300	△73.8	139.65	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 5社 (社名) SHIBAURA MACHINE LWB GmbH、他4社 、 除外 1社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	24,820,406株	2025年3月期	24,820,406株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,173,352株	2025年3月期	1,189,353株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	23,640,654株	2025年3月期3Q	23,835,829株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13
3. その他	14
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の概況

① 2026年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策、ウクライナ情勢や中東情勢の懸念継続などの地政学リスクの高まり、中国の景気低迷の長期化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経済環境は、米国の通商政策による影響が自動車市場を中心に見られ設備投資の様子見が継続、また、中国の景気低迷の長期化など厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画「中計2026」（2025年3月期～2027年3月期）で掲げている事業ポートフォリオの組み替え、顧客の生産性向上に寄与するシステムエンジニアリング装置販売・直販への軸足シフト、事業ポートフォリオ組み替えにリンクした人材戦略、ESG経営の推進等の基本方針に基づき、脱炭素社会、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した商品の開発と提供、DX戦略の推進などの諸施策を遂行しております。なお「『中計2026』26年度緊急対応について」（2025年11月19日付）にて公表のとおり「中計2026」は事業環境の大幅な変化により、2027年3月期の目標は未達となる見込みです。「26年度緊急対応」を策定し2027年3月期の業績にも寄与するよう施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の前年同期比における受注高は成形機、工作機械、制御機械の全セグメントで増加し、875億4千2百万円(前年同期比15.6%増、海外比率66.1%)となりました。売上高は射出成形機、工作機械、超精密加工機が増加しましたが、中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の減少により、927億1千9百万円(前年同期比30.3%減、海外比率71.5%)となりました。損益については、規模減少による減益などにより、営業利益は18億7千2百万円(前年同期比85.7%減)、経常利益は28億9百万円(前年同期比79.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は規模減少及び前年同期に計上した固定資産売却益の反動減、2025年11月28日に持分取得し連結子会社化したSHIBAURA MACHINE LWB GmbHののれんの減損損失などにより、4億6千6百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益122億8千万円)となりました。

② セグメント別の概況（前年同期比）

成形機事業 [射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など]

射出成形機においては、販売は北米、東南アジア等で増加いたしました。受注は自動車市場の停滞や設備投資の様子見継続の影響もあり、国内、インド、東南アジアで減少いたしました。

ダイカストマシンにおいては、自動車向けが、販売は東南アジア、北米で増加したものの、国内、中国で減少、受注は東南アジア、北米、インドで増加いたしました。

押出成形機においては、中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が、販売は減少、受注は増加いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は588億5千4百万円(前年同期比13.3%増、海外比率77.5%)、売上高は686億4千9百万円(前年同期比38.3%減、海外比率83.2%)、営業利益は11億7百万円(前年同期比91.8%減)となりました。

工作機械事業 [工作機械(大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など)、超精密加工機など]

工作機械においては、販売は国内及びインドにおけるエネルギー向けが増加いたしました。受注は中国及び北米におけるエネルギー向けが増加いたしました。

超精密加工機においては、販売及び受注はAI普及拡大による大型サーバー需要に伴い、中国における光通信向けが増加いたしました。また、販売は国内における半導体向けも増加いたしました。受注は中国における車載レンズ向けも増加いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は221億7千4百万円(前年同期比23.7%増、海外比率54.2%)、売上高は177億4千万円(前年同期比21.7%増、海外比率50.3%)、営業利益は11億9千3百万円(前年同期比9.8倍)となりました。

制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置、システムエンジニアリングなど]

制御機械においては、国内における電子制御装置が、販売は減少、受注は増加いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は50億4百万円(前年同期比4.9%増、海外比率5.8%)、売上高は46億9千6百万円(前年同期比23.6%減、海外比率6.7%)、営業損失は4億2千万円(前年同期は営業利益1億9百万円)となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は15億9百万円(前年同期比37.7%増、海外比率0.4%)、売上高は16億3千3百万円(前年同期比54.7%増、海外比率0.7%)、営業損失は2千1百万円(前年同期は営業損失6億1千6百万円)となりました。

(2) 財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ159億3千7百万円減少し、1,836億7千万円となりました。減少の主な内訳は、投資その他の資産合計が51億4百万円増加したものの、商品及び製品が137億3千4百万円、有価証券が100億円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ165億8千7百万円減少し、658億4千9百万円となりました。減少の主な内訳は、契約負債が156億3千5百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千9百万円増加し、1,178億2千万円となりました。増加の主な内訳は、その他有価証券評価差額金が22億8千8百万円増加したこと等によります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は64.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,388	34,631
受取手形、売掛金及び契約資産	27,381	24,209
有価証券	18,000	8,000
商品及び製品	35,790	22,055
仕掛品	26,461	33,215
原材料及び貯蔵品	40	333
その他	7,160	7,915
貸倒引当金	△72	△53
流動資産合計	151,150	130,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,309	50,012
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,091	△29,503
建物及び構築物（純額）	21,218	20,508
機械装置及び運搬具	26,230	27,630
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,930	△23,265
機械装置及び運搬具（純額）	4,300	4,364
土地	6,741	6,812
リース資産	1,568	1,762
減価償却累計額及び減損損失累計額	△862	△1,031
リース資産（純額）	706	731
建設仮勘定	221	567
その他	7,202	8,209
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,416	△7,297
その他（純額）	785	912
有形固定資産合計	33,973	33,897
無形固定資産		
のれん	378	337
その他	771	689
無形固定資産合計	1,150	1,026
投資その他の資産		
投資有価証券	11,754	14,943
長期貸付金	2	1,496
繰延税金資産	557	479
その他	1,528	2,315
貸倒引当金	△510	△798
投資その他の資産合計	13,332	18,437
固定資産合計	48,457	53,361
資産合計	199,607	183,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,003	14,641
短期借入金	10,135	10,451
未払法人税等	2,895	137
未払費用	2,101	2,333
賞与引当金	2,382	1,178
製品保証引当金	727	750
契約負債	36,353	20,718
その他	1,872	2,296
流動負債合計	71,472	52,506
固定負債		
長期借入金	-	939
繰延税金負債	3,194	4,449
役員退職慰労引当金	26	27
退職給付に係る負債	6,826	6,969
資産除去債務	413	456
その他	503	500
固定負債合計	10,964	13,342
負債合計	82,436	65,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,539
利益剰余金	82,222	78,817
自己株式	△3,631	△3,582
株主資本合計	102,613	99,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,448	8,737
為替換算調整勘定	6,596	8,278
退職給付に係る調整累計額	1,512	1,546
その他の包括利益累計額合計	14,557	18,561
純資産合計	117,171	117,820
負債純資産合計	199,607	183,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	133,078	92,719
売上原価	89,437	63,997
売上総利益	43,641	28,721
販売費及び一般管理費	30,524	26,848
営業利益	13,117	1,872
営業外収益		
受取利息	151	241
受取配当金	505	537
受取賃貸料	32	32
為替差益	272	119
その他	135	331
営業外収益合計	1,098	1,263
営業外費用		
支払利息	109	113
操業停止費用	※ 211	-
その他	303	213
営業外費用合計	625	326
経常利益	13,590	2,809
特別利益		
固定資産売却益	4,043	0
負ののれん発生益	-	118
関係会社株式売却益	7	-
特別利益合計	4,051	119
特別損失		
固定資産処分損	42	62
関係会社出資金評価損	-	341
投資有価証券評価損	6	-
関係会社株式売却損	6	-
減損損失	-	2,067
特別退職金	165	-
特別損失合計	220	2,471
税金等調整前四半期純利益	17,421	457
法人税、住民税及び事業税	4,813	481
法人税等調整額	327	442
法人税等合計	5,140	924
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,280	△466
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,280	△466

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,280	△466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△944	2,288
為替換算調整勘定	1,189	1,653
退職給付に係る調整額	83	28
その他の包括利益合計	328	3,970
四半期包括利益	12,609	3,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,609	3,503
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 操業停止費用

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社において鋳物設備が一部損傷したことによる操業停止期間に関わる固定費相当額等であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	111,295	14,579	6,147	132,022	1,055	133,078	—	133,078
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1,402	1,402	289	1,692	(1,692)	—
計	111,295	14,579	7,550	133,425	1,345	134,770	(1,692)	133,078
セグメント利益又は 損失(△)	13,551	121	109	13,783	△616	13,166	△49	13,117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	68,649	17,740	4,696	91,085	1,633	92,719	—	92,719
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	121	1,341	1,463	287	1,751	(1,751)	—
計	68,650	17,861	6,037	92,549	1,921	94,470	(1,751)	92,719
セグメント利益又は 損失(△)	1,107	1,193	△420	1,880	△21	1,859	12	1,872

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「成形機」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に、のれんの減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、2,067百万円であります。なお、減損損失は特別損失のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社ファンクショナル・フルイッドの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「成形機」セグメントにおいて、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は118百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(企業結合等関係)(取得による企業結合)

当社の連結子会社であるSHIBAURA MACHINE EMEA GmbHは、2025年11月28日付でSHIBAURA MACHINE LWB GmbH (以下「SML社」という。)の持分の80%を取得し、当社グループの連結子会社といたしました。

1. 企業結合の概要(1)被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称

SHIBAURA MACHINE LWB GmbH

事業の内容

射出成形機を中心とする産業用機械の製造・販売

(2)企業結合を行った主な理由

当社グループは、2026年度を最終年度とする中期経営計画「中計 2026」に基づき、事業ポートフォリオの变革を中心とした各種施策を遂行しております。その施策の1つとして掲げている欧州市場開拓の取り組みとして、既存のイタリアの子会社に加え、2025年5月にドイツの子会社を設立して射出成形機を中心に拡販を図るとともにM&Aについても欧州事業の拡大に寄与する案件の検討を進めてまいりました。

ドイツに本社を置くSML社は、主にゴム加工用の効率的かつ精密なモジュラー式射出成形機の専門技術を有しており、ゴム・樹脂向け堅型射出成形機の欧州の主要メーカーの一角として、1962年の創業から今日に至るまでの実績とノウハウ、高いブランド力を保有しています。同社を当社グループに取り込むことで、欧州における当社の射出成形機事業の生産拠点と販売・サービス力を強化するとともに、同社のブランド力を活かしながら、欧州市場参入の強力な足掛かりとしてまいります。また、先に拡張した当社グループのインド工場等のリソースを活用することで、同社の製品コストの削減や、アジア市場向けの拡販にも取り組んでまいります。

このようなシナジー効果の創出を通じて、射出成形機を中心に当社グループの欧州における事業拡大が見込めることから、このたび持分譲渡契約を締結し、同社を子会社化することといたしました。

(3)企業結合日

2025年11月28日 (持分取得日)

2025年12月31日 (みなし取得日)

(4)企業結合の法的形式

現金を対価とする持分取得

(5)結合後企業の名称

変更はありません。

(6)取得した議決権比率

80%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社が現金及び預金を対価として持分を取得したことによります。

2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2025年12月31日をみなし取得日としており、当第3四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	1,804百万円
	繰延対価	200百万円(注)
取得原価		2,005百万円

(注)損害賠償請求へ備え、買収価格の1割である200百万円(1,088千EUR)につき売主への支払いを留保しております。また、留保期間は、補償期間と同様の1年半であります。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに関する報酬・手数料等 213百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間(1) 発生したのれんの金額

2,067百万円 (暫定値)

(注) 当第3四半期連結会計期間において、まだ取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産を上回ったことによるものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

取得対価算定時の事業計画からその時点以後の業績に乖離が生じたため、同社に対する出資金の減損処理に伴って、のれんを全額償却しております。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	3,337	百万円
固定資産	831	〃
資産合計	4,168	〃
流動負債	3,222	〃
固定負債	1,008	〃
負債合計	4,230	〃

7. 企業結合が当第3四半期連結会計期間の開始の日に完了したと仮定した場合の当第3四半期連結会計期間の四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

企業結合が当第3四半期連結会計期間の開始の日に完了したと仮定して算定された売上高および損益情報と、取得企業の四半期連結損益計算書における売上高と損益情報との差額を、影響の概算額としております。

なお、当該注記は監査証明を受けておりません。

売上高	2,527	百万円
営業利益	△819	〃
経常利益	△1,331	〃
税金等調整前四半期純損失	△1,331	〃
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△1,331	〃
1株当たり四半期純損失	△56.34	円

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,993百万円	2,445百万円
のれんの償却額	40	40

3. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	51,957	58,854	6,897	13.3
工作機械	17,926	22,174	4,247	23.7
制御機械	4,773	5,004	231	4.9
報告セグメント計	74,656	86,033	11,376	15.2
その他	1,096	1,509	413	37.7
合計	75,752	87,542	11,790	15.6

② 売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	111,295	68,649	△42,646	△38.3
工作機械	14,579	17,740	3,160	21.7
制御機械	6,147	4,696	△1,451	△23.6
報告セグメント計	132,022	91,085	△40,937	△31.0
その他	1,055	1,633	577	54.7
合計	133,078	92,719	△40,359	△30.3

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	86,780	74,397	△12,382	△14.3
工作機械	22,165	26,068	3,902	17.6
制御機械	3,469	3,453	△16	△0.5
報告セグメント計	112,415	103,919	△8,495	△7.6
その他	580	367	△213	△36.7
合計	112,996	104,287	△8,709	△7.7

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。